



ADRC Highlights Vol.152

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 December 2006

➤ JAXA 及び ADRC が「センチネル・アジア」の運用を開始

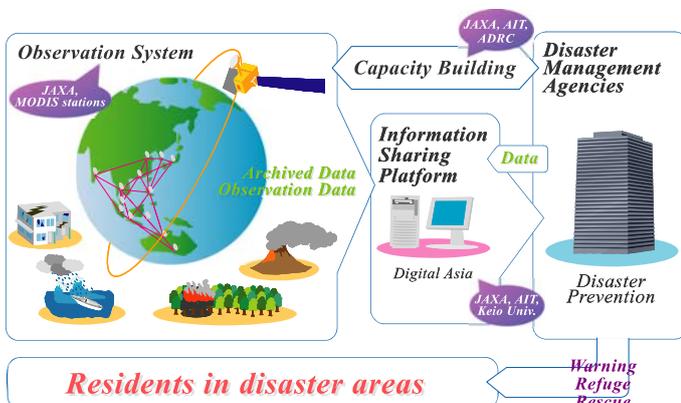
自然災害が多発するアジア地域において、大規模災害が発生した場合に、被災現場の状況把握や被災現場と災害対策機関等を繋ぐ通信手段として、衛星の利用に社会的関心が高まっています。

日本宇宙航空研究開発機構 (JAXA) およびアジア防災センター (ADRC) は、2006年10月24日、アジア太平洋地域宇宙機関フォーラム (APRSAF) の主導により開発されたアジア太平洋防災支援システムの一環としての「センチネル・アジア (Sentinel Asia)」の運用を開始しました。

「センチネル・アジア」は、無償、ベストエフォートを基に、(1) 情報伝達技術や衛星観測技術を利用し、生命の安全が第一の社会を確立する、(2) 災害予防および早期警報のスピード・正確さを改善する、(3) 自然災害による被害者や社会経済的な損失を軽減する、ことを目的として開発されました。

「センチネル・アジア」の共同プロジェクトチーム (JPT) の宇宙開発関連機関および ADRC メンバー国は、JAXA が所有する陸域観測技術衛星 (ALOS) により緊急災害観測要求及び得られた観測データ・画像、その他入手可能なリソースを利用することができます。なお、観測の結果はインターネットを通じて、一般にも公開されます。

「センチネル・アジア」についての全体的な流れは以下の図のとおりです。



「センチネル・アジア」の詳細につきましては、HP (<http://dmss.tks.c.jaxa.jp/sentinel/>) をご覧

ください。
この件についてのお問い合わせは、主任研究員の小鹿 (kojika@adrc.or.jp) までお願いします。

➤ お知らせ □ アジア航測株式会社・齋藤亮氏

アジア航測株式会社・ジオマティクス事業部画像情報課の齋藤亮氏が、本年10月より当センター事務所で勤務されています。齋藤氏は、JAXA と ADRC が共同で行っているプロジェクト「センチネル・アジア」の発進へ向けて、目下活躍中です。当センターは、齋藤氏と緊密に連携をとりながら、このプロジェクトを進めていきたいと考えています。



➤ 国際津波・地震フォーラムの開催 □ 2007年1月15、16日、兵庫県神戸市で開催

このたび、IRP (国際復興支援プラットフォーム) は、内閣府、外務省、兵庫県及び国連関係機関との共催により、「国際津波・地震フォーラム～兵庫行動枠組の進捗状況と津波・地震災害からの復興～」を2007年1月15、16日の両日、神戸国際会議場にて開催します。自然災害の経験や教訓、復興過程における災害に強い国づくりについて、情報共有や知見の交換を行います。

15日の公開シンポジウムは、日英同時通訳付でどなたでも無料でご参加いただけます。参加ご希望の方は、氏名・職業・住所・電話/FAX 番号を、2006年12月28日までに、IRP 事務局へメール (irp-event@recoveryplatform.org)、もしくは FAX (078-262-6046) でお申し込みください。なお、16日の専門家会合 (一部英語のみ) の参加を希望される方はその旨をお知らせください。別途こちらから連絡いたします。

このフォーラムの詳細につきましては、IRP の HP (<http://www.recoveryplatform.org/>) をご覧ください。皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F
E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546
誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行 (予定)